

## ◎全員協議会（2024年4月25日開催）町長口述説明

（フィリピン共和国ラグナ州からの来訪について）

失礼いたします。

フィリピン共和国ラグナ州からの来訪について、ご報告申し上げます。

まず、姉妹都市を提携する目的についてご説明いたします。

私は、これまでから、グローバルな人材を育成し、国際交流が盛んなまちを目指しているところでもあります。

グローバルな人材を育成するために、様々な方法を模索する中で、海外都市との国際交流をその手段の1つとして捉えており、海外都市との姉妹都市提携に向けて調査を進めて参りました。

そうした中、現地での調査を依頼していた仲介人からフィリピンのラグナ州にあるファミリー市の市長が興味を示していると連絡があったため、ファミリー市の市長と連絡を取り、お互いの意向を確認し、この間、交流を図ってきたところでもあります。

昨年7月に来町された際には、お互いに確認した今後の交流内容についての取り決めに文書化した覚書を締結いたしました。

しかしながら、現時点ではファミリー市と姉妹都市を提携することが決定したわけではなく、私は自分の目で現地を確認した上で姉妹都市の提携に向けた検討を行うために、本年3月の定例会において、令和6年度当初予算案として現地視察にかかる費用を計上したところでもあります。

姉妹都市については、その提携先をファミリー市に限定しているものではなく、子どもたちが直接的に英語に触れる機会を創出することが英語レベルの向上に繋がると考え、そのためにあらゆる可能性を検討しております。

そうした中でイギリスの小学校との国際交流事業を進めるための予算についても、ファミリー市への現地視察にかかる費用と同様に令和6年度当初予算案として、計上したところでもあります。

あいにく、どちらの予算についても修正削除されたところではありますが、今後もあらゆる可能性を追求し、国際交流が盛んなまちを目指して、海外都市との交流を検討して参りたいと考えております。

それでは、これまでのフィリピン共和国ラグナ州ファミリー市との経過についてご説明いたします。

令和4年12月に仲介人より、フィリピン共和国ラグナ州のファミリー市を紹介され、その仲介人を通じてファミリー市から町の概要がわかる資料がほしいと連絡があったため、メールでファミリー市へ、町の概要についての資料を送付いたしました。

その後、令和5年3月上旬に仲介人を通じて、ファミリー市からオンラインで懇談したい旨の連絡があり、4月5日に町長室でオンラインにて、初めてファミリー市のレロサ市長と顔を合わせ、交流の目的などについての協議を行いました。

オンライン懇談の後、4月20日に仲介人を通じて、ファミリー市の市長が町の視察に行きたい意向である旨の連絡があり、日本へ入国する際に必要となるビザの申請をするために、招待状をいただきたいと依頼があったため、町からファミリー市へメールで招待状を送付いたしました。

その後、私が仲介人を通じてやり取りをする中で、6月26日にファミリー市から具体的な日程が示され、私の日程と調整した結果、7月27日から30日に来町されることになりました。

7月27日の午後に来町され、町長室で交流の内容を確認した後に大山崎中学校を視察され、翌28日には、町長室で27日に確認した今後の交流内容についての取り決めを文書化した覚書を交わした後に、ダイハツ工業京都工場などを視察されました。

翌29日は、今後の交流について再度確認し、最終日の30日に帰国されました。

その後は、子ども同士のオンライン交流に向けて進めていく予定でしたが、町の状況を説明し、現在、事業はストップしている状態でございます。

この間は、新年のご挨拶や昨年12月にフィリピンで発生した地震、そして本年1月に能登半島で地震が発生した際、お互いの被害状況を確認するなどの連絡を交わしているところでございます。

そうした中、去る4月3日にファミリー市から、「5月にファミリー市の市長とラグナ州の他の市長10人ほどが京都を訪問する予定であるため、私にお会いしたい。」と連絡がありました。京都を訪問される目的は主に観光とのことでした。

その後、同月19日に、「諸事情により当面は延期することとなった。」と連絡がありましたので、5月の来訪については延期となったところでございます。

今後、進捗があった場合には、議会への報告・説明に努めて参りたいと考えております。

以上、フィリピン共和国ラグナ州からの来訪についてのご報告とさせていただきます。